

oinanyo 通信

2021年3月号 No.60

発行所

NPO 法人 おいなんよ

長野県飯田市桜町 1-9-1

Tel 0265 (23) 1803

Fax 0265 (48) 5803

oinanyo-15@bz04.plala.or.jp

【URL】 <http://oinanyo.net/>



「さくらまち」の征矢野富江です。いつまでも若さを失わない秘訣は？



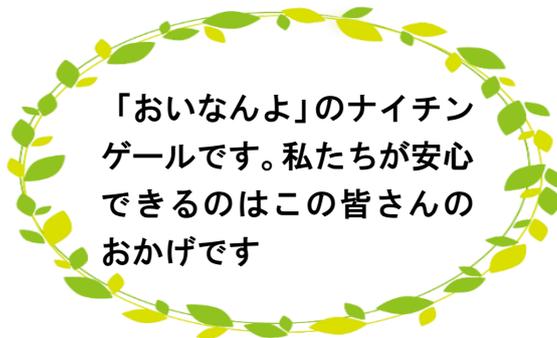
「松島」の大澤雅子です。たま～に軽トラで出勤。どうも働き者らしいです。



「松島」の村越清子です。ご主人の作る野菜をせっせと運んで来て下さいます。



三日市場の井原幸枝です。とても〇〇と思えません。元気で～す。



「まつお」前島博子です。いつも爽やかな笑顔です。



「別家」の矢澤はる美です。おいなんよには教え子がいっぱいいます。



「別家」の山田行子です。職業を間違えたようにいつも配膳のお手伝いをしています。



「まつお」の矢崎八重子です。いつもお野菜・お花を有難う



《さくらまち》の風景はコロナ並び。
狭いさくらまちはコロナで四苦八苦。
教室のように一列並びです。



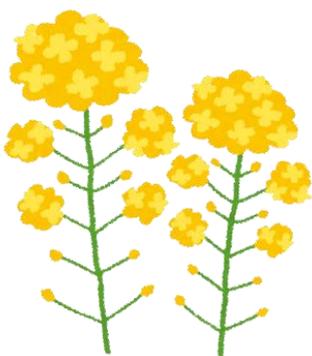
《おおせぎ別家》
干し柿が終わり、凍み大根干しになりました。

“新しい時代の始まりです”

“新しい生活様式”という言葉が昨年度から嫌と言うほど聞かされてきましたが、どこかで以前の生活に戻りたい新しいなんて嫌だと思っている事に気が付きました。それはコロナと共存する社会のありかたを模索する段階となったという事です。時代に対応しながら先を見ることの大切さと確実なあゆみとのバランスを感じています。

その上、気が付くと介護保険改正の時期となっていました。説明を聞くと、新しい時代をつくる為の大きな改正です。“おいなんよ”が時代の流れを取り込みながら、どのように展開できるか楽しみです。

理事長 佐藤 敏子



今年もマスクが
必要です。手づくり
マスクで皆さんおしゃ
れを楽しんでいます。



基本的な感染症対策



手を洗おう



消毒しよう



うがいしよう



マスクをしよう



換気をしよう



うちで過ごそう

編集後記

もう3月、朝晩の寒さで zuku もなく。庭を視れば草が…。3月の日中の温度が 18℃と上がれば草も生き生き伸るはずだ。これも気候変動の現われか？昔は「春雨じゃ濡れて帰ろう」がこの頃の雨は、台風のような突風で“詫びさび”もなく生死ほどに変わってしまった。我々人間が作ってしまった環境に、国連が示した 17 項目「SDGs」果たして 2030 年までに達成できるだろうか。益々、一人一人の自覚が必要だ。 (い)